

科目名		機構学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	義肢装具士科3年	必修・選択	必修

【授業の目的・ねらい】

義肢装具を構成する種々の機械的要素について学び、安全で快適な義肢装具の製作・適合をできることを目指す

【授業全体の内容の概要】

基本的な機械要素について、その構造と原理について学ぶ。実際の義肢装具にどのように利用されているかを理解する。

- 1) 対偶(回り対偶、すべり対偶、ねじ対偶、回りすべり対偶、球面对偶)
- 2) 機構(歯車機構、カム機構、摩擦機構、巻掛け機構、リンク機構)
- 3) 義肢装具における実例

【講師の実務経験】

【授業終了時の達成課題(到達目標)】

義肢装具に使われている機構を理解し、義肢装具の機構的構造を説明できることを到達目標とする。

回数	講義内容
1	機構の基礎
2	機構の運動
3	リンク機構1
4	リンク機構2(義肢装具への応用)
5	カム装置
6	摩擦・巻掛け伝動装置
7	歯車
8	ねじ

【準備学習・時間外学習】

【使用テキスト】

書籍名	著者名	出版社
機構学の基礎	稲見辰夫	ダイゴ

【単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など)】

終講試験により認定する。